

Green

ー グリーン

緑の環境を維持する
社会に向かって

社長あいさつ

「緑」

それは私にとっての原点

代表取締役 大角 武志

FROM Vietnam

緑を守る 森林を守る
私たちの命を守る

Guest Column

グリーンと、緑
都市の緑化と地方の現実

SANPOH 山口たか&ゆみ

Main Column

目指せ！ 緑の環境を維持する社会
オオスミの取組む環境活動

「グリーン」といえば?? / あなたが好きな「緑」の写真 / 植物園レポート

緑ヶ丘高校「緑の探究」 / GREEN×EXPO 2027

日本は国土の約68%が森林に覆われていますが、都市部では森林が少なく、公園や街路樹、屋上緑化が重要です。都市緑化が進められ、限られたスペースで自然との共生が図られていますが、土地利用や維持管理には課題があります。

緑 それは 私にとっての 原点

「グリーン」にはいろいろな解釈がありますが、私の場合は自然の中の「緑」という言葉でお話させてください。それは、「山」そのものであったり、「森林」であったり、「葉っぱ」であったり、「苔」であったりと様々な種類のものです。でも、それらが構成する一つの集大成が「緑」なのだと考えています。

「緑」、それは私にとっての原点です。小さい頃に連れて行ってもらった山、小学生の時に初めて経験した

森の中のキャンプ、中学生時代にはボーイスカウトで野山を駆け巡りました。電気も水道もない野営地でテントを張って1週間近く過ごしたりと、自然の中で豊かな経験ができたことが今でも鮮明に覚えている体験であり、原点であると思っています。

言葉で説明すると陳腐になってしまいますので、ぜひきれいな、そしてみずみずしい「緑」を見ていただけたらと思います。



株式会社 オオスミ
代表取締役 大角 武志

Photo by
大角武志



From Vietnam

緑を守る 森林を守る 私たちの命を守る

我々が生活するベトナムは南北に長く、多種の動植物が生息する豊かな森林があります。更に、長い海岸線に繁殖する海藻や植物は、気候変動を防ぐCO2の吸収に役立っています。森林を守り、海を守り、CO2を吸収することは、気候変動に起因する自然災害を防ぎ、そして、我々の命を守ることに直結します。

現在、ベトナムではカーボンニュートラルに向けた対策が取られています。

改訂環境保護法を策定し、森林保護、海洋保護の強化。

再生可能エネルギーの拡大と省エネルギー実施責任の厳格化。

リサイクル、リユース法を策定し、循環型社会の構築。

オオスミベトナムの試み

オオスミベトナムはGHG排出量削減に貢献するための諸活動を行っています。

- ✓ 製造工場での使用電力量を削減するため、「工場内の診断 対策提案・施工 効果の見える化」のトータルサービスを提供し、省エネを推進。
- ✓ 再生可能エネルギーの普及のため、工場屋根置き太陽光発電設備の導入コンサルとEPC事業の展開。
- ✓ 日本政府の草の根支援制度を活用し、ダナン市内一般市民を対象に緑化や住宅構造の工夫で快適な生活環境を維持する教育、啓蒙活動。

気候変動、自然災害を防ぐため、緑を、そして、豊かな自然を保護していくことが非常に大切です。我々は、引き続きGHG排出量の削減に尽力しながら、団地、街、市の身近な緑化事業にも積極的に参加し、カーボンニュートラルの達成に少しでも貢献したいと思っています。

グエン・フオン・ナム

Nguyen Phuong Nam
Osumi Vietnam Co.,Ltd.



グリーンと、緑 都市の緑化と地方の現実



COLUMN

環境保全・防災・安らぎ・美しい景観の形成など、自然本来の力を利用して課題を解決する〈グリーンインフラ〉という考え方のもと都市の緑化はスピード感を増しています。一方地方では少子高齢化や過疎化が深刻で、緑の管理の担い手不足の現実が里山に荒地を増やしています。夏が近づくと私たちの地域でも「何もかも緑に覆いつくされてしまいそうだ…」とご高齢者の嘆きが。管理の負担が増し緑に疲弊しています。そうして、のどかな田園風景や深緑の山が殺風景に切り開かれ巨大な発電所や処分場などに変わっていく光景は、都市部に取り戻される緑と対照的に映り、複雑な気持ちになります。

緑化の目安に〈緑視率／リよくしりつ〉があります。視界に占める緑の面積の割合を表し、国土交通省の調査(*1)によると、屋外ではこの緑視率が25%以上、室内で10%～15%ほどになると「緑が多い」と人は認識しはじめ、安らぎやうるおいを感じるそうです。

進化するグリーンの存在

けれども、緑の多い地方に住む私たちでさえ特にインドアグリーン(屋内緑化)が身近になったと感じます。コロナ禍の中でグリーンがもたらすやすらぎやストレス低減、疲労回復などの効果・効能を多くの人が実証することになったからかもしれません。

ことさら都市部のインドアグリーンは〈バイオフィリア〉(人間は自然とのつながりを本能的に求める)という概念の広がりによって進化しています。集中力や効率性の向上のため各々のデスクに小さなグリーンを配置したり、人間関係の円滑化や健康増進など、働く環境の改善のために社員専用の休憩室にまでグリーンがモリモリと取り入れられるように。もはや従来のような空気清浄やおもてなしの装備として置かれるだけの存在ではありません。さらには、優秀な人材・クリエイティブな発想を確保するために緑化が試みられるなど、ますますグリーンの存在は意味を増し、公共の場から身近な暮らしの中へと浸透してきています。



インドアグリーン3つのポイント

グリーンの効果・効能を十分に得るためのポイントをご紹介します。

1.置き方

動線や空調の影響などで隅に追いやられることもあります。グリーンが完全に視界から消えてはもったいないです。目に映り込んでいてこそ集中力アップやストレス低減の効果が得られます。

2.関わり方

水やりなどの管理は、リース会社や特定の担当者が行うよりも各人自ら世話をすることが大切です。愛着を持ち育てることも重要なようです。

3.フェイクでもOK

造花でもリフレッシュ効果が認められています。季節感にとらわれず、色やかたちを自由に組み合わせることができるのが素敵なおポイント。本物のグリーンにプラスし、一部をフェイクで彩るのもOKです。

壁、面、絵画、身に着けるカーディガンなど、空間のさまざまな要素のグリーンカラーも、リラックス・リフレッシュ・爽やか・調和…といったイメージを与えてくれます。補うように取り入れればより素敵な空間になります。



Garden for everyone!

最後に、緑豊かな地方でわざわざ自分のお庭を持つことの意味ですが、それはGARDENの語源〈囲われた楽園〉が言い現すとおりだと思います。周辺とやや距離を置いたプライベートな空間で植物を愛で、育ちをコントロールしようと挑戦を繰り返します。そこには安らぎだけでなく、楽しさや奥深さ、そして充実感があります。それらが自信や生き甲斐へとゆっくりとつながっていくように思えます。そしてこれは、都会のデスクの上でグリーンを育て眺めながら、より良い仕事をしよう、とすることにもどこか似ている気がします。

計画的に洗練されていく都市部のグリーンがあるその一方で、奔放で少し野暮ったくなりがちな地方の緑もあります。人が互いに行き来して、様々な自然の姿や役割を分かち合えたら素敵だなと思います。

SANPOH 山口たか&ゆみ

お庭づくりを仕事にすること20年超。日本最南端のツルの越冬地、鹿児島県出水市を拠点に活動しています。緑豊かな田舎のイメージとはうらはらに虫や草のないノーメンテプランを希望されることも多々。お庭好きを増やし特に子どもたちにはお庭であそび育ってもらいたいのが私たちの願いです。そんな思いからオリジナル商品・ホースリール〈メリー〉も誕生しました。



(*1) 都市の緑量と心理的効果の相関関係の社会実験調査について～真夏日の不快感を緩和する都市の緑の景観・心理効果について～/国土交通省

https://www.mlit.go.jp/kisha/kisha05/04/040812_3_.html

(*1-2) 緑視率計算サービス/自主簡易アセス支援サイトNPO地域づくり工房

<https://assessment.forum8.co.jp/assessment/php/greenCoverageRateUpload.php>

(*2) 都市郊外の居住環境における緑視率と住民による住居での花の装飾行動との関係

参考: https://www.jstage.jst.go.jp/article/jila/77/5/77_673/_pdf/-char/ja

緑の環境を維持する社会を目指してオオスミの取り組む環境活動

オオスミは、緑の社会を維持していくために、環境配慮に関する活動を積極的に行っています。

未来の社会に自然豊かな緑を残すために子どもたちの未来が明るいものであるようにと願いながら、これからもゴールを目指して走り続けます。

省エネの取り組み

CO2排出削減省エネ診断は東日本大震災による福島原子力発電所の停止した前年（2010年）に業務が開始されました。本年度で15年目を迎えます。

被災当初は、東北地方を訪問し、対策費用を最小限に抑えられる運用改善が主体でしたが、2015年の国連気候変動枠組条約締結国会議（COP21）でパリ協定が採択されたように、2050年カーボンニュートラルに向け、CO2温室効果ガスの一層の排出削減に向け、積極的な取り組みを行っています。

おかげさまで、弊社では累計で225件（2023年度時点）、診断事業所の総CO2排出の578.4tに対し、診断による運用改善及び高効率設備への更新により、62.9t（10.9%）のCO2排出量の抑制に寄与しています。



オオスミ社は100%再生可能エネルギーで運用中！



RE100（アールイー100）とは、「Renewable Energy（再生可能エネルギー）100%」の略で、企業が事業活動において使用する電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的な取り組みです。

オオスミにおいても、再生可能エネルギーを最大限に利用すべく、自社で太陽光発電を導入するとともに秋田県八峰町峰浜風力発電所等から電力の供給を受けております。



ラウド&ピース

環境問題についてのイベントは、どこか堅苦しいイメージがあると思います。アイデアを持ってポジティブに取り組む団体、企業、個人の活動内容や実績を、世の中に広める、明るく楽しいロックフェスのような場にしたい、という大角社長の思いのもと開催したイベントがLOUD & PEACEです。2022年に第1回が開催され、第3回目となる今年は横浜市開港記念会館にて脱炭素をテーマに開催し、4名の方がプレゼンをしてくださいました。



オオスミの畑

オオスミでは畑づくりにも取り組んでいます。無農薬かつ有機肥料で極力、環境に負荷をかけない農法で運営しています。

会社近くの畑を借りて皆で楽しみながら季節の様々な野菜を育てています。

食について考える新たな機会となっています。



GX「グリーントランスフォーメーション（Green Transformation）」とは

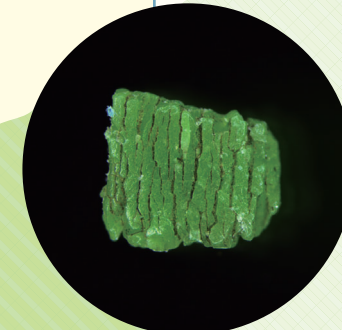
温室効果ガスの排出量の多い化石燃料中心の社会から、太陽光発電などのクリーンエネルギー中心の社会にするためクリーンエネルギーへの転換、環境関連技術の開発、普及などの環境に関する産業活動が大きな市場となるように、育て環境に配慮した経済活動が収益の中心になるよう、社会そのものを変革する取り組みです。

GX
Green Transformation

マイクロプラスチックの分析

近年、プラスチックによる環境汚染への関心が高まっており、オオスミでは分析の依頼をいただく機会が増えてきています。マイクロプラスチックは、5mm以下の微細なプラスチックで、体内に取り込まれると肺炎症や喘息、がんになる可能性がありますと言われています。環境中に広く分布していることがわかり始め、流出を抑えるための対策が検討され始めています。

先日、野外の人工芝グラウンドから流出するマイクロプラスチックの対策工事を行う企業様から、施工前後の比較調査のご依頼をいただきました。



植林（プレゼントツリー）

社員の不要な物をリサイクル販売して得たお金で、オオスミの樹（プレゼントツリー）を2021年に購入しました。この樹は山梨県笛吹市でNPO法人が植樹・保管管理を行っています。

この写真は3年経過したオオスミの樹です。微力ではありますが、温室効果ガスの削減に貢献しています。



切断した木について

オオスミの一員だった楠ですが、建物を建築時、泣く泣く切らざるを得ませんでした。

今では立派なテーブルに変わりました。



30by30への参加

30by30（サーティ・バイ・サーティ）とは、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させるというゴールに向け、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする環境省によるプロジェクトの名称です。

オオスミとしてもできることはないかと考え、「生物多様性のための30by30アライアンス」のメンバーとして登録する運びとなりました。

有志が集まり、生物多様性の保護事業に取り組むための会議を行いました。緑の環境維持のためにも、生物多様性の保護に取り組んでいきます。



横浜緑ヶ丘高校「緑の探究」

Writer

分析技術グループ 鈴木(圭)



神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校様では「緑の探究」という、生徒がテーマを決めて、そのテーマに沿った実験や考察を行い、社会的な課題などについて考える取り組みを行っています。

私は自然環境や化学分析の専門家として、高校1年生の探究活動(緑の探究I)が円滑に行えるように、実際に教室にお伺いしてのアドバイス等をしています。



行動力から教わることも

計画段階では設備などの理由で実施ができないテーマもあり、中には「神奈川県全ての工場にグリストラップ(排水から油を除去する設備)を設置してもらう。」なんていう、スケールの大きなテーマを掲げたグループもありました。

こういったテーマに関しては、生徒が何をしたいのかを聞き出しながら、目的に少しでも沿うように別のアプローチを提案するのが頭を悩ませたことの一つでした。ただし、やることが決まった後の行動力はすばらしく、神奈川県の川と水質を比較するために、静岡県の清流として知られる柿田川にサンプリングに行ってくれた生徒もいました。

思うような結果が出たグループとそうでないグループがありましたが、どのグループも創意工夫の跡が見られ、教わることも多く、良い刺激をもらうことができました。

今回の活動のように知識を共有し、意見を出し合えるような輪を広げていけば、豊かな自然を守ることができるのではないかと思います。将来、環境に関する仕事をするかどうかに関係なく、環境について考えてくれるような人になるきっかけになれば嬉しいです。



GREEN × EXPO 2027



GREEN×EXPO 2027を
応援しています



2027年3月19日から9月26日の約6か月間、横浜市の北西部(旭区・瀬谷区)にある旧上瀬谷通信施設でGREEN×EXPO 2027が開催されます。GREEN×EXPO 2027とは2027年国際園芸博覧会のことで、国際的な園芸・造園の復興や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的としています。

また、国際博覧会は、国際園芸家協会(AIPH)によって認定を受け開催され、「A1」、「B」、「C」、「D」の4つの区分に分けられます。今回のGREEN×EXPO 2027は最高クラスの「A1」です。「A1」は認定に加え国際博覧会条約に基づく博覧会国際事務局(BIE)の認定を受ける必要があります。

日本では1990年に大阪で開催された「国際緑と花の博覧会(花の万博)」以来の開催となっています。

オオスミとしてできること

約2年後のイベント開催に向け、現在開発事業が行われており、オオスミもわずかですが携わらせていただいています。今後もインフラ整備や会場及び関連施設の建設がより進められていく中で、私たちは環境調査会社として公共用水域の水質分析、土壌や建設発生土の調査、大気汚染の調査等のサービスの側面から安全と安心を提供し、イベントに関わっていければと考えています。

また、開催地の横浜市瀬谷区に本社が位置している会社として、他の地域の方やお客様にも情報発信を積極的に行いGREEN×EXPO 2027を盛り上げていければと思います。



新人紹介

「グリーン」といえば?

緑といえば? 植物や花はもちろん、オオスミスタッフの好きをご紹介します。



ニジイロ
クワガタ

調査第一グループ
石井

理由は?

自宅でクワガタのブリーディングを行っており、緑と言われこの子が思い付いたからです。

特徴は?

体が玉虫色のような色をしているところと、遺伝で緑色と赤色のどちらかが強く出るようになるところです。



知床の自然

調査第三グループ
林

理由は?

森が多く、野生のエゾシカや熊を見ることがあり、自然の広大さを感じたからです。

特徴は?

木の葉や草の色が関東よりも薄いライトグリーンみたいな色をしていてとても綺麗なところです。



紫陽花と
ひまわり

分析技術グループ
中嶋

理由は?

近所の公園の花壇に紫陽花とひまわりが同時に咲いていて美しく、印象に残っているからです。

特徴は?

私の中で紫陽花は雨が降っている時に咲き、ひまわりは晴れている時に咲くイメージがあったからです。



7MEN侍の
本高克樹くん

調査第二グループ
鈴木

理由は?

応援しているアイドルグループ「7MEN侍」のメンバー本高克樹くんの担当カラーが緑色だからです。

特徴は?

自分のやりたいことを最後まで貫き頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうと思えるところです。

my favorite green photos

あなたが好きな

緑の写真

Green Collection Gallery

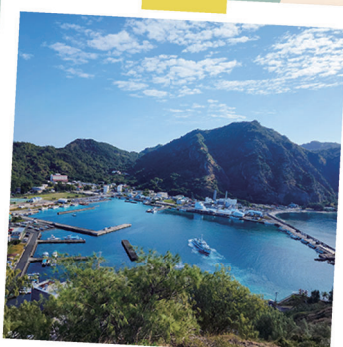


栗林公園（香川県）の風景写真

分析技術グループ 植田

北アルプス五竜岳に登った時の写真
天然記念物の雷鳥と共に

総務グループ 谷

小笠原諸島の玄関口
父島港を撮り下ろした

調査第二グループ 原口



娘と訪れた7月の尾瀬湿原

調査第三グループ 永島

亡き愛犬とチューリップ
うちの子かわいい！

調査第二グループ 原口

黒部ダムより下流側から
綺麗な虹と共に

調査第一グループ 小柳

緑色の恐竜を着ている犬
着せたら固まった

調査第二グループ 山崎

昭和記念公園のイチヨウ並木道
キレイだったので思わず撮影

調査第三グループ 壘家

儚く散った夏
ソフトボール大会に参加したが、儚い
結果に終わった

調査第一グループ 田邊

末っ子が作った可愛くて美味しい抹茶
クッキー

調査第一グループ 藤平(み)

番外編

嫌いな緑の写真

シリア国ホムス市
廃液・廃棄物貯蔵池から染み
出し、雑草も生えない側溝の水

調査第二グループ 平尾

西丹沢周辺地域にて
モニ1000という鳥類調査等を行って
いる社内ボランティアの活動時に撮影

調査第一グループ 川畑

境川サイクリングロード
サイクリングに行ってからエクストリー
ム出社した記念に撮影

分析技術グループ 長瀬

真夏の田園
数日後に豪雨災害が発生する山形県
最上川付近の田園

調査第三グループ 星

BOTANICAL GARDEN
REPORT 植物園レポート

Reporter

調査第一グループ 津嶋

本紙ではこれまで、クリーンエネルギーを増やしCO2の排出を減らすことや人工芝の影響の監視など、緑の環境を維持するためにオオスミが行っている対策等を上げていきました。でも実際、緑の環境を維持するってどういふものだろう……？そう考え、私はとある場所へと向かいました。

「神奈川県立東高根森林公園」。溝ノ口駅からバスに乗り10分弱の場所にあるこの公園は、貴重な史跡と広大なシラカシ林を保護する、懐かしさと親しみを感じる綺麗な公園です。命溢れる蝉の声が鳴り響く園内をぐるりと回れば、色んな顔を見せる植物が広がっており、そんな自然を満喫する子どもや大人を多く見かけました。東高根遺跡が眠る古代芝生広場を囲むシラカシ林は現在まで自然林に近い形で保護されており、見事な姿を見せてくれました。

環境保全の活動の効果は実感しにくいものですが、このような雄大な自然を守る遠因となり、どこかでオオスミの活動も繋がっているのだろうと改めて感じました。



シラカシ林



古代芝生広場

NEWS オオスミニュース

ドクター・スメルグッド®

「ドクター・スメルグッド®」は、臭いに関する専門的なコンサルティングとサービスを提供するサービスで、経験豊富な臭気判定士（国家資格者）が多数在籍しています。臭いの原因を科学的に分析し、最適な対策を提案することで、工場、施設、商業施設など、さまざまな環境での臭気問題をワンストップで解決します。特に、建設業界や産業工場など、臭気対策が厳しく求められる業界に対して、実践的なソリューションを提供しています。



臭気判定士が現地調査を行い、最新の技術と知見を駆使して、問題解決に必要な手順を明確にします。さらに、長期的な臭気管理や予防策の導入も支援し、クライアントが持続的に快適な環境を維持できるようサポートしています。

ドクター・スメルグッド®は、臭いの専門家として信頼されるパートナーであり、さまざまな臭気問題に対してトータルサポートを提供しています。



表彰

関東商工会議所連合会
【ベスト・アクション表彰】を受賞しました！

この度、関東商工会議所連合会の【ベストアクション表彰】を受賞いたしました。「ベスト・アクション表彰」は、商工会議所の活動に関連し、まちづくりや地域活性化に貢献した会員に贈られるものです。オオスミは、再生可能エネルギーの利用や環境セミナーの開催、SDGsをテーマとしたイベントの実施など、環境と持続可能な社会に向けた活動が評価されました。



認定

横浜健康経営認証2024の
『クラスAAA』の認証を受けました！

この度、株式会社オオスミは、横浜市の「横浜健康経営認証2024」において、最高ランクの『クラスAAA』を取得しました。オオスミは、従業員の健康維持と増進を目的に、特定保健指導の推進やヨガ、睡眠セミナーの実施、インフルエンザの予防接種、禁煙外来費用の補助など、多様な取り組みを行っています。今後も従業員の健康課題を把握し、さらなる改善を図り、健康的な職場環境を整えてまいります。



社員と環境に感謝して

オオスミ本社の4階食堂が、8月1日より「オオスミ・カフェテリア」としてリニューアルオープンしました。このカフェテリアは、従業員同士のコミュニケーションを促進し、快適な仕事環境を提供する場として設計されています。お昼休みには、自席ではなくカフェテリアを利用して、社内交流を増やすことを目指しています。また、カフェテリアのデザインには「地球のドクター」を意識した要素が取り入れられ、外部との打ち合わせにも適した空間となっています。

東京支店リニューアル

この度、オオスミの東京支店がリニューアルされ、皆様を新たな装いでお迎えいたします。エントランスには、オオスミのロゴと「地球のドクター」を象徴するデザインが施され、新サービス「ドクター・スメルグッド®」のユニフォームも展示されています。また、新設されたセミナールームでは、『化学物質濃度管理者講習』をはじめ、さまざまな教育プログラムを開催しており、多くのお客様にご参加いただいております。今後も有益なサービスと情報を提供してまいりますので、ぜひご利用ください。

省エネしていないと
商談が減る時代の到来。

エコ意識の高低差が企業の業績や採用に響く今の時代。

ならば、1日も早く会社としてのエコへのシフト。

早いほど企業価値はグンと高まり、世界に羽ばたくチャンスが広がります。

そう、地球のためだけじゃないのです。

これは自分たちの生き残りもかかったシフトです。

環境調査会社のオオスミのECOシフト。>>>

善は急げ。まずは省エネ診断を。



私たち「地球のドクター」の仕事

環境調査・分析・対策事業

水質、土壌、建設発生土、産業廃棄物、PCB
アスベスト、ばい煙・排ガス、作業環境測定
室内空気環境、省エネ、騒音・振動
悪臭、ドクター・スメルグッド®（ニオイの原因特定）
マイクロプラスチック、材料解析・異物分析
他

コンサルティング・セミナー

環境部長®（環境法令順守サポート）
エコアクション21認証取得支援
省エネコンサルティング
労働衛生コンサルティング
化学物質管理者講習
各種環境セミナー 他

2024年
11月オオスミHP
リニューアル
OPEN!

すべての事業分野における膨大なソリューション。これはオオスミが培ってきた強みです。

株式会社オオスミ

本社

〒246-0008 横浜市瀬谷区五貫目町20-17

TEL 045-924-1050

東京支店

〒101-0064 千代田区神田猿楽町2-1-14 A&Xビル 5F

TEL 03-3219-5021

2023～2024年認証取得・更新



横浜市SDGs認証制度

再エネ100宣言
RE ActionY-SDGs
- standard -

編集後記

今回の制作では、グリーントランスフォーメーション（GX）を通じた持続可能な社会への貢献や、瀬谷で開催される GREEN×EXPO 2027 の取り組みを取り上げ、オオスミが目指す「緑の環境を維持していく社会」へのビジョンを皆様にお伝えしたいと思い、編集を進めてまいりました。

ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。
（編集委員一同）

？ オースマイルって？

O-smile は造語ですが、分解すると『O』と『smile』に分けられます。この『O』は株式会社オオスミの頭文字。『smile』は字のごとく笑顔です。Oのsmile、つまり私たちオオスミで働く人間は、常に心に笑顔を持っていたいと願う心からこのような名前にしました。

